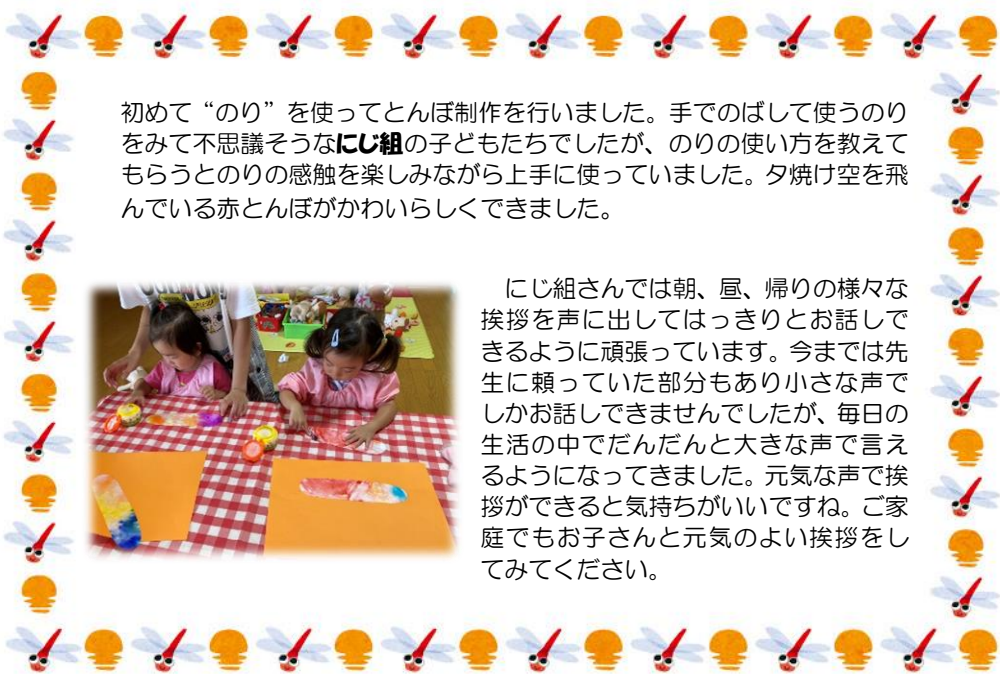


朝晩の涼しさが夏の暑さを忘れさせてくれるほど、心地よい季節となりました。幼稚園の園庭には秋を思わせる素材があちらこちらに顔を出し、子どもたちは“我先に”と栗や柿拾い、そしてバッタやトンボなどの虫探しに夢中になって遊んでいます。

いろいろなことに興味を持ち、自分でやってみたり真似をしてみたりしながら学んでいく時期だからこそ、大切にしていきたいことがたくさんありますので、一人一人の個性に寄り添いながら“楽しさ”“嬉しさ”“悲しさ”などに共感していきたいと思います。

朝晩の涼しさから体調を崩しているお子さんもいますので、体調が悪い時には無理をせず、早めに受診するなどしてゆっくりと体を休めるようにしてください。



初めて“のり”を使ってとんぼ制作を行いました。手でのばして使うのりをみて不思議そうなにじ組の子どもたちでしたが、のりの使い方を教えてもらうとのりの感触を楽しみながら上手に使っていました。夕焼け空を飛んでいる赤とんぼがかわいらしくできました。

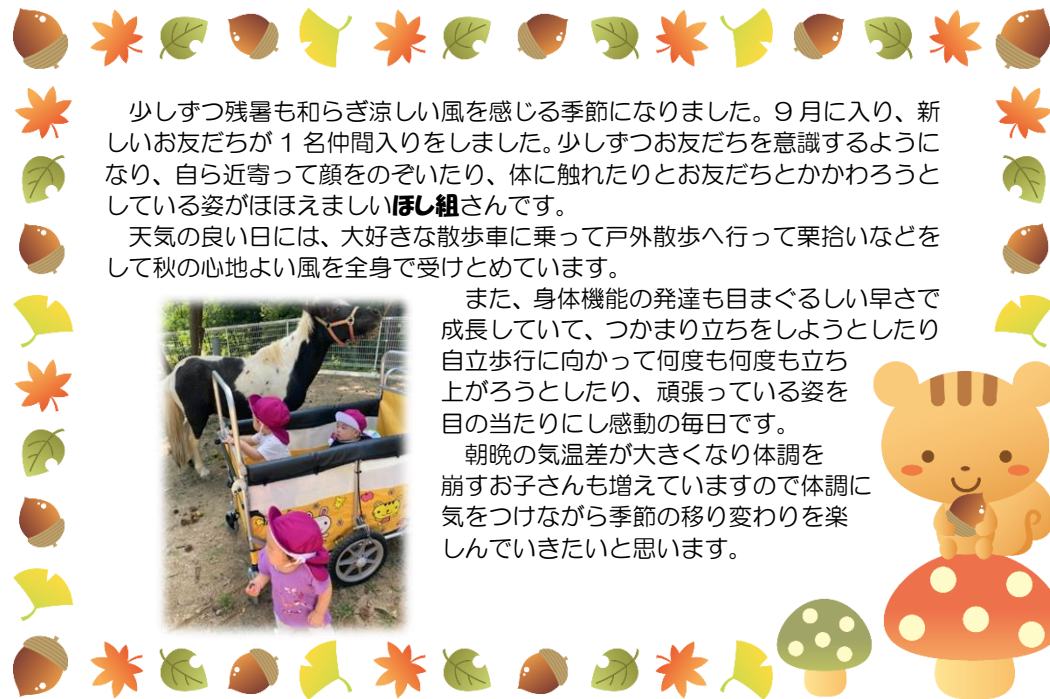


にじ組さんでは朝、昼、帰りの様々な挨拶を声に出してはっきりとお話できるように頑張っています。今までは先生に頼っていた部分もあり小さな声でしかお話しできませんでしたが、毎日の生活の中でだんだんと大きな声で言えるようになってきました。元気な声で挨拶ができると気持ちがいいですね。ご家庭でもお子さんと元気のよい挨拶を試してみてください。

# わがわがば

Petit wakaba nursery

9月



少しずつ残暑も和らぎ涼しい風を感じる季節になりました。9月に入り、新しいお友だちが1名仲間入りをしました。少しずつお友だちを意識するようになり、自ら近寄って顔をのぞいたり、体に触れたりとお友だちとかかわろうとしている姿がほほえましい**ほし組**さんです。

天気の良い日には、大好きな散歩車に乗って戸外散歩へ行って栗拾いなどをして秋の心地よい風を全身で受けとめています。



また、身体機能の発達も目まぐるしい早さで成長していて、つかまり立ちをしようとしたり自立歩行に向かって何度も立ち上がろうとしたり、頑張っている姿を目の当たりにし感動の毎日です。

朝晩の気温差が大きくなり体調を崩すお子さんも増えていきますので体調に気をつけながら季節の移り変わりを楽しんでいきたいと思います。



日中は残暑を感じる日々ですが、陽が落ちるのもずいぶん早くなり、朝夕は肌寒くなりました。

園庭に出ると心地よい風に秋の気配を感じながら、栗拾いにトンボやバッタ探し、また、砂遊びに夢中になっている**とら組**です。



栗拾いでは見つけると「あった〜！」と大喜びで教えてくれます。手に持ちきれないくらい拾った栗を持ち、満面の笑み！お土産に持ち帰った栗を、「茹でておいしく食べました」「家族で仲良く食べました」「初めて自分で拾った栗



を食べることができ大喜びでした」など、素敵なお話をたくさんいただきました。園庭での栗拾いはわかば幼稚園ならではの素晴らしい体験ですね。